

一般質問とは、議員が市政の執行状況や方針などを質問し、市の考え方を明らかにするものです。内容を要約し、発言順に掲載しています。※今定例会は演壇、質問席に飛沫防止パネルを設置しているため、適宜マスクを外すことを認めています。

代表質問



新時代そうま代表
只野敬三 議員
が問う！

人口減少に歯止めを!!
他自治体に遅れないように
取り組むべき!!

デジタル田園都市国家構想の
取り組みについて

国では、政府の大きな柱として、デジタル庁、こども家庭庁を設置し、さらに、以前の「地方創生総合戦略」を具体的に進化させた「デジタル田園都市国家構想」を掲げてきた。今の市が抱えている人口減少という大きな問題に歯止めをかけるための国の支援策であり、この国家政策をフルに活用すべきと考え、質問する。

Q. マイナンバーカードの活用について問う。

A. 市は現在、マイナンバーカードを利用したオンライン申請を受付可能とするため、国が提供するマイナポータルを通じた「びったりサービス」に

代表質問



新政会代表
菊地清次 議員
が問う！

令和5年度は安心して
暮らせる相馬市を目指して!!

中村城跡の整備について

中村城は早くにして天守はなくなっているが、城跡は今でも立派に残っている。しかし、築城してから400年以上が経過し、周辺の石垣は崩れづら積み方をしていっているもの、近年の3回の大地震で黒橋や赤橋周辺の石垣が崩落し、大変危険を感じている。早期の修復を求め、質問する。

Q. 史跡の災害復旧と整備の方針について問う。

A. 令和3年2月、令和4年3月の2回の福島県沖地震により、外大手一ノ門の損壊、本丸石垣

代表質問



にじ代表
門馬優子 議員
が問う！

人生100年時代を生き抜く
力を身に着けるために今、
求められていることは!!

新年度の教育行政について

人生100年時代と言われる中、生きがいを感じられ、生涯学習の場でもある公民館事業と人生を切り開く原動力となる学校教育における新年度の重点的な取り組みについて伺う。

Q. 公民館事業の推進について問う。

A. 公民館は、市民にとって一番身近な生涯学習拠点の一つとして、大きな役割を担っているものと捉え、市民からの生涯学習への要望や課題の解決のために、次の取組を実施している。①「相馬のお魚料理教室」や「バリスタ・コーヒー講座」、「こども教

対応するためのシステム改修等を行っており、4月1日から、子育て・介護関係の26の手続が利用可能となる予定である。
国では、マイナンバーカードが持つ本人確認・認証機能を公共サービスから民間サービスまで幅広い場面で利用しやすくするために、様々な環境整備を推進していくこととしている。
市は、デジタル社会においてはマイナンバーカードが不可欠であると考えており、引き続き国の動向を注視し、国の示す方向性と市の実情に合った有効な活用方法を研究し、デジタル社会における市民の利便性向上に資する施策を検討していきたいと考えている。

Q. 人材育成について問う。

A. 市は、マイナンバーカードの普及促進に合わせ、カードを保有するメリットを市民が最大限享受できるよう、行政手続のオンライン化を進めるとともに、令和7年度の稼働を目指して国が進めている行政システムの標準化、クラウド化への対応を進めていることから、市職員が取り扱うデジタル技術も大きく変化していくことが予想される。

このようなデジタル環境の変化に対応するためには、情報政策部門の職員に限らず、全ての職員がデジタルリテラシー向上の重要性を認識し、実際に機器を操作しながら技術の理解を深める実務研修などにより、組織全体でスキルアップしていくことが必要となる。

市としては、今後、有効な研修体制や最新の情報を得て技術を経験できる環境の整備などに取り組んでいきたいと考えている。



の崩落、さらには各々るわなどに亀裂が多数発生した。令和4年度は、史跡中村城跡調査・保存・整備指導委員会による現地調査を実施した上で、外大手一ノ門の復旧方法の検討や石垣崩落箇所などの被害状況確認のための事前調査を実施した。令和5年度は、外大手一ノ門の耐震補強工事及び本丸石垣等に必要な基礎調査として、地質・測量調査を実施する予定である。
市教育委員会としては、基礎調査の結果を基に、史跡中村城跡調査・保存・整備指導委員会に諮り、その上で、今後の石垣復旧等の整備方針を決定していきたいと考えている。

Q. 中村城跡の観光への活用について問う。

A. 市はこれまで、中村城跡を活用したイベントとして、相馬野馬追以外で、一日騎馬武者体験相馬観光復興御案内処による視察、市内周遊イベント、みちのく潮風トレイルなどを市観光協会、関係団体等と連携しながら取り組んできたが、ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止や規模縮小など、誘客イベントの実施が困難な状況にあった。市としては、今後の状況等を踏まえ、従前のイベントなどの復活を優先に取り組むとともに、中村城跡を活用した新たなイベントについては、市内経済への波及効果が見込めるならば、まちなかのにぎわい創出の観点の下、関係団体と協議していきたいと考えている。

その他の質問

○市長の政治姿勢について
○福島第一原発からのALPS処理水海洋放出に対する取り組みについて

